

アクシア / LEDフルカラー演出照明

カラー LEDが他社の半額以下 0円で始められるレンタルも!

一昔前は、ギラギラとした電飾がスタンダードだったホールの店外装飾だが、今、人気を集めているのはスタイリッシュなもの。

そこで注目したいのが、アクシアの「LEDフルカラー演出照明」だ。店舗の外壁をさまざまな色と光り方で照らし、ときに芸術的に、ときに刺激的に夜に浮き上がらせる。

同製品と同じように、店舗を装飾できるフルカラーLEDは多数あるが、その価格がまるで違う。

ある500台規模の店舗が、外壁用に35基のLEDフルカラー照明を導入しようとした際、A社からは約750万円、B社からは約650万円の見積りが出てきたという。

アクシアが提示した見積りは、なんと上記2社の半額以下。しかも、上記2社は、現地調査と施工費が別途かかるが、アクシアはどちらも無料というから驚きだ。

「当社がよいものを適切な価格で提供しようとした結果ですが、他社では、多くの代理店マージンなどが乗っけてしまっているせいもあると思います」と語るのは同社開発部の趙鶴亀課長。

これだけの差があれば、コスト面でのメリットは明確だが、製品自体



「LEDフルカラー演出照明」。消費電力は50W。一般的に170Wといわれる水銀灯と比較すると、約70%ダウンの省エネとなる

が他社より劣っている意味がない。

同社は、約10年前からLED照明の開発・販売を行っている企業。パチンコ店はもちろん、そのほかの商業施設、工場、体育館などの公共施設とさまざまな場所に導入しており、LEDの品質は折り紙付きだ。フルカラーLED演出照明に関しては、約3年前にホールでフィールドテストを開始。これまで、故障はまったくないといっているほどだ。

「もちろん、LED自体の品質にも自信を持っていますが、演出照明で、最も多い不具合は通信エラー。それが一切ないのは、誇れる部分ですね」。通信エラーが起きると、例えば、グラデーションをかけて7色に徐々に光を変化させる設定をしているのに、点滅する、色が変わらないなどの不具合が……。それではせっかくの雰囲気も台無しだ。

そのようなトラブルが起きないようにするために、現地調査と施工を綿密に行わなければならない。

一般的に、それらの作業には100万円前後かかるのだが、先に挙げたとおり、同社では無料。しかも、その精度が非常に高いのだ。

もともと、同社は、ホールへの「LEDレンタル」で知られる企業。

「工事費を含め、初期費用が一切からない」「レンタル料金を月々の電気代から徴収」「5年間の保証付きで、その間のメンテナンス費用が不要」「5年後には、ホールに無償譲渡される」という、資金0からLEDを導入できる手軽さがウケているブランドだが、今回、そこに「LEDフルカラー演出照明」も含まれることになった。

つまり、店内の照明をLEDに替える際に店外の雰囲気も変更でき、それが、持ち出しなしで可能というところ。ここまで手軽にイメージ一新をはかれる手段は、ほかにはないだろう。

300色以上、右から虹色に変え、流れるように光が見える演出方法が人気だという

